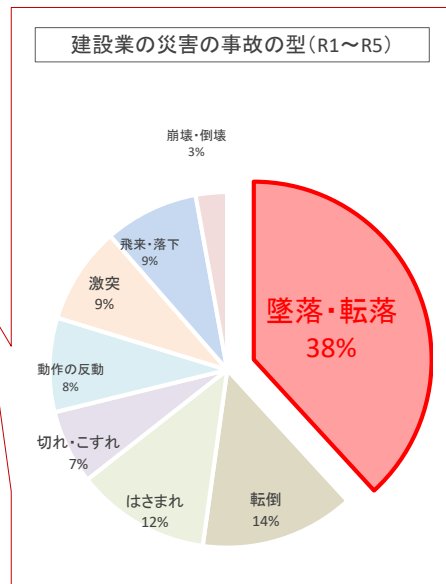
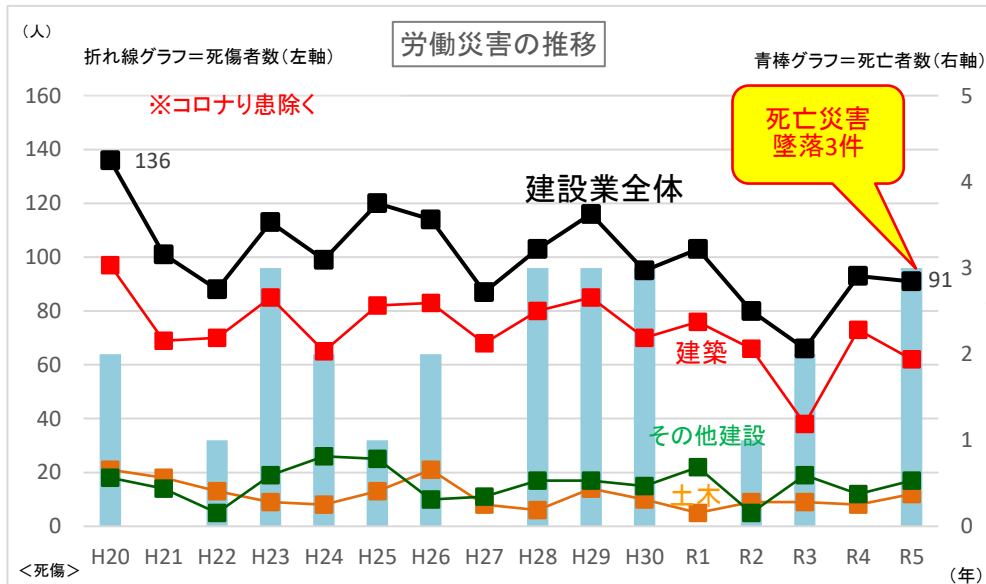


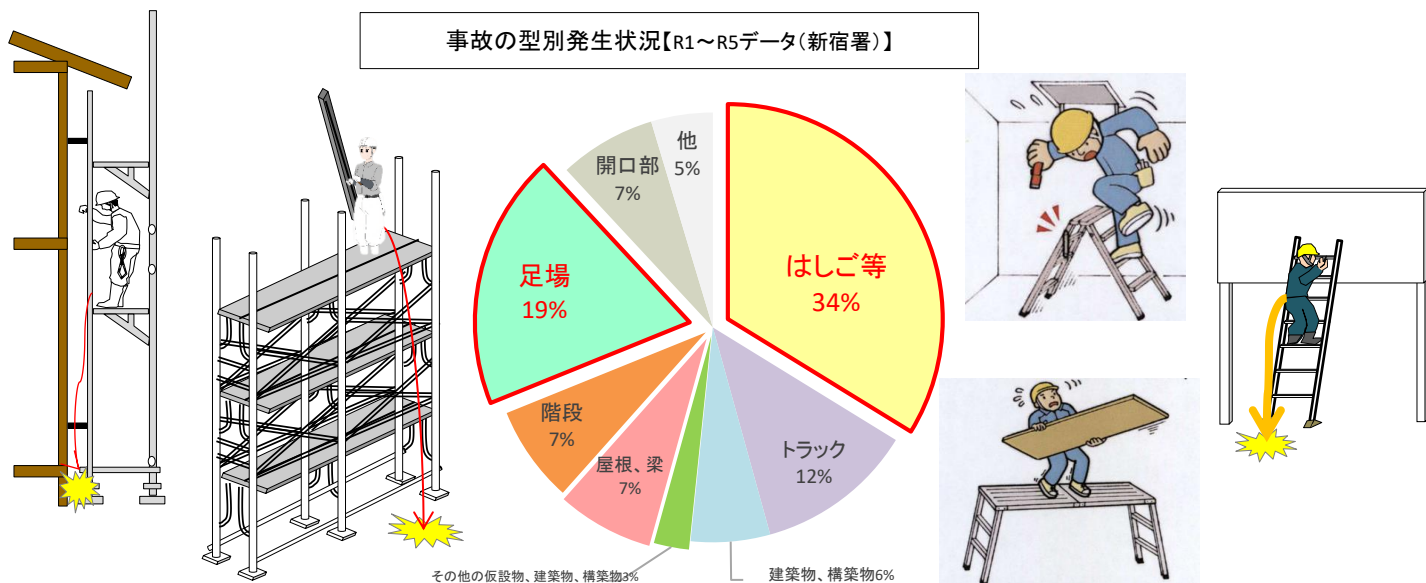
## 死亡・重篤災害【ゼロ】に向けて

「墜落・転落」災害をなくそう

管内（新宿区・中野区・杉並区）の建設業の災害の発生状況

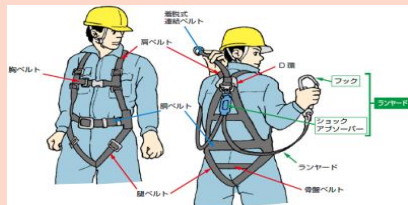


管内の建設業における「墜落」災害の特徴 (過去5年データ)



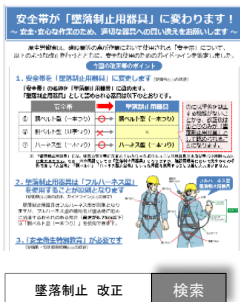
### 墜落制止用器具の使用

特に「足場の組立・解体時」の使用徹底  
フルハーネス型墜落制止用器具の**特別教育**  
新規格の墜落制止用器具を使用  
(R4.1.2より旧規格は使用できません)



フルハーネス型の着用者が墜落時に地面に到達するおそれのある場合 (高さが6.75m以下) は「胴ベルト型 (一本つり)」を使用できます。

<関連パンフレット>



### 安全衛生教育の徹底

現場監督への意識調査(東京労働局)において、労働災害発生要因として「作業の慣れ」「危険意識の低下」が多く回答

- 安全衛生教育の徹底
  - ▶新規入場、送り出し
  - ▶雇入れ教育
  - ▶職長の再教育・・・等
- 作業手順の周知徹底 (手順内容の確認、周知会の実施)
- KY活動等の活性化 (改めて活動の意味、目的、進め方を指導)



墜落・転落災害の防止について

1.脚立、はしごについて

①まず検討！

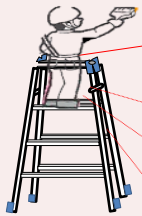
- はしごや脚立の**使用自体を避ける**
- 墜落の危険性が相対的に低い用具へ変更（ローリングタワー、可搬式作業台、手すり付き脚立等）



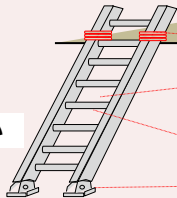
【可搬式作業台(例)】

【手すり付き脚立(例)】

②使用する場合の「**ルール**の定め」「**安全使用のポイント**」を教育



- 身を乗り出さない（位置を直す）
- 天板作業の禁止
- 反動のある作業をしない
- 3点支持での昇降



- はしご上端固定・突き出し
- はしご上の作業をしない
- 3点支持での昇降
- 滑動防止（又は補助）

【**チェックリストの活用を!**】

脚立をを使う前に

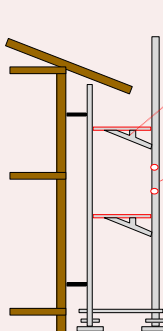
はしごを使う前に

脚立 チェックリスト 厚労省 検索

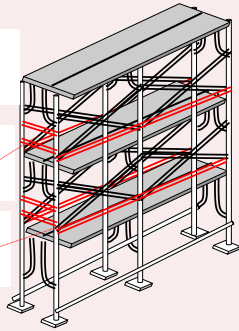
2.足場について

原則、**枠組・本足場**（幅40cm以上）を採用

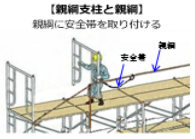
組立・解体中の**対策の徹底**



- 作業床の確保（幅40cm以上）
- 手すり、中さんの設置
- 下さんの設置（躯体側も必要に応じて）



- 先行手すりの採用（適切な手順の徹底）
- 墜落制止器具の使用（原則フルハーネス）
- 適切な取り付け設備（親綱等）
- 作業主任者の配置と職務の遂行



「幅1メートル以上」の場所では、原則**二側足場が義務**

＜足場の規則改正 R5.10～施行＞

1. 一側足場の使用範囲の明確化（R6.4～）  
（幅1メートル以上の場所では、**二側足場の使用を義務**）
2. 足場点検者の**指名、点検者の氏名の記録**（R5.10～）

QRコード

リーフレット

3.特に墜落・転落災害防止を主眼とした**リスクアセスメントの実施**について

工事工程別、作業別等の必要な単位で実施

日々の安全活動にて、墜落・転落災害の危険箇所を確認



- 施工計画書/施工要領書
- 個別工事の作業手順書

RAの結果を反映させる



朝礼・ミーティング



巡視・パトロール

STOP! 熱中症 ～クールワークキャンペーン～

令和6年5月1日から9月30日までとする。  
4月が「準備期間」、7月を「重点取組期間」

- 暑さ指数の把握 □ 暑さ指数を下げる □ 休憩場所の整備 □ 作業時間の短縮 □ 服装 □ 水分・塩分の摂取 □ 熱への順化



掲示するだけでなく、測定結果に応じた対策を!



のどがかわいていなくても

- 健診結果に基づく措置 □ 日常の健康管理等 □ 労働者の健康状態の確認（作業員同士、巡視等） □ 異常時の措置



- ①糖尿病 ⑥皮膚疾患
- ②高血圧 ⑦感冒・風邪
- ③心疾患 ⑧下痢
- ④腎不全
- ⑤精神・神経系の疾患



睡眠不足  
前日の飲み過ぎ  
当日朝食取ったか



- 暑さ指数の低減対策を実施
- 各労働者が暑さに慣れ
- 各労働者の体調
- 作業の中止や中断の有無
- 水分や塩分の摂取



迷わず救急車を呼びましょう!  
異常を感じたら**すぐ病院か救急車を呼ぶ**（教育、周知）

＜熱中症サイト＞

熱中症の発生の仕組・症状  
教育資料・eラーニング動画  
対策事例  
WEB講習会の案内・・・など  
**是非活用を!**

QRコード